

2021年度 日本工学院専門学校											
ミュージックアーティスト科／ヴォーカリストコース											
音楽基礎A 2											
対象	1 年次	開講期	後期	区分	必修	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	田熊 知存			実務経験	有	職種	アレンジャー				
授業概要											
ボーカリスト、シンガーとしてのスキルを向上させる。1. 正しい発声法を学ぶことにより、ピッチコントロールがうまくできるようになる。2. 喉の筋肉を鍛え、喉や体の正しい使い方を学ぶことにより、長く歌っても枯れづらい喉を作る。3. リズムやグルーブ、声の出し方などのニュアンスを学び、表現力を身につける。											
到達目標											
自分の理想とするボーカリスト、アーティストに近付き、プロの現場でも通用する技術、姿勢を身につける。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
授業方法											
この授業は基本的にはマンツーマンで、発生からそれぞれの生徒に合ったレッスン方法で指導していく。楽曲に関しては、基本的には生徒のやりたい楽曲で進めていくが、苦手な分野や克服したいポイントがあればその都度生徒に合った課題曲と一緒に考え、順庵精を持って指導していく。											
成績評価方法											
試験・課題 70% 課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価 成果発表 20% 授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価 平常点 10% 積極的な姿勢											
履修上の注意											
生徒が持つ個性を大切に、そこをどううまく活かしていくかを念頭に指導していく。各学生が目指しているところが違うため、まず到達点をどこにするのか(シンガーソングライターなのか、またそれはどういうスタイルのものか、等細かく)を密に話し合いながらレッスンを進めていく。出席率、提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は、定期試験受験不可、進級できない。											
教科書教材											
毎回授業にて資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする											
回数	授業計画										
第1回	発表会方式で全員が一曲フルコーラスで発表していく。全ての講師陣からコメントをもらう										
第2回	修了ライブの演目形態、及び今後について、方向性などを決める										
第3回	歌う時の姿勢、体、意識の持ち方についての説明										
第4回	意識をもったままで歌う実践を行う										
第5回	発声法についての解説、理解										
第6回	発声法を意識して歌う実践を行う										

2021年度 日本工学院専門学校	
ミュージックアーティスト科／ヴォーカリストコース	
音楽基礎A 2	
第7回	声の飛ばし方をイメージする
第8回	課題曲を使って声の飛ばし方を実践で表現する
第9回	修了ライブのリハをかねて、それぞれがステージでフルコーラス発表をする
第10回	リハでの動画を見て、個人で課題を再確認する
第11回	マイクの位置、手の動きなどのステージングを考える
第12回	フルコーラスを歌い再度課題をチェックする
第13回	修了ライブに向けての仕上げ
第14回	修了ライブに向けての仕上げ
第15回	全体のまとめ ライブステージでフルコーラスを発表する